

(様式1-2)新規評価シート

建設部 都市・まちづくり課

事業名		街路		路河川名等		(都)岩野ニッ柳線他1路線 <(主)長野信州新線他1路線>			
事業毎の通番		1	市町村名	長野市	箇所名(ふりがな)	御幣川(おんべがわ)			
事業概要	事業目的	本路線は、長野市南部の商業中心地である篠ノ井地区南部を東西に結ぶ幹線街路である。沿道は第一種住居地域に指定されており、住宅地が形成されている。しかしながら、現道の車道幅員は狭く、かつ長野市立通明小学校の通学路に指定されているものの歩道がないことから、歩行者との接触事故の危険性を帯びている。また、交差点部は付加車線がなく、通勤、通学時には渋滞が発生しているとともに、歩行者溜りが狭小であり、交差点内での事故も懸念されている。本事業の施行により、歩道の設置及び車道拡幅を実施し、合わせて交差点改良を行うことにより、円滑な都市内交通の確保並びに安全で安心な住環境の形成を図りたい。							
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-8 生活を支える地域交通の確保(生活の基盤となる道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	都市計画法				
	関連する事業、計画等	長野都市計画区域マスタープラン、長野市都市計画マスタープラン							
	保全対象・範囲	受益対象(不特定多数):計画自動車交通量 6,030台/日							
	着手年度	2020年度(令和2年度)	事業期間	8年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完成年度(見込み)	2027年度(令和9年度)	費用対効果	3.2		国庫	その他	県債	一般財源
	全体事業内容(主な工種)	道路拡幅工 L=345m、W=6.0(16.0)m			750,000	412,500	75,000	236,250	26,250
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	幹線道路の整備による交通の円滑化及び安全性の向上 歩道整備による歩行者の安全確保 災害に強い道路						
		間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進 安全・安心な道路を整備することで、既存市街地の人口流出並びに定住化を図る						
	評価の視点	必要性	○計画自動車交通量 : 6,030台/日 ○交通結節点アクセス : JR篠ノ井線篠ノ井駅(2次アクセス) ○地域の骨格・環状を形成 : 幅員16.0m ○区域区分 : 市街化区域					評価	A
重要性		○関連計画、重点施策との整合 : しあわせ信州創造プラン2.0(調査箇所)、長野都市計画区域マスタープラン ○緊急輸送路の路線指定 : 長野市緊急幹線道路					評価	B	
効率性		○費用対効果(B/C) : 3.16 ○事業期間 : 8年間 ○工法等の比較検討 : 工法、構造について検討あり					評価	A	
緊急性		○近年の交通事故件数 : 7件/3年 ○渋滞対策・混雑度 : 混雑度 0.51 ○通学路対策 : 合同点検箇所、歩道なし ○自転車対策 : 自転車通行帯を設置					評価	A	
計画熟度		○事業情報の共有 : H28、H29、H30、R元年度に地元説明会を実施 ○地域の取り組み : 積極的な取り組みがある(期成同盟会有り) ○地域の合意形成 : 合意形成が図られている ○住民との協働 : 毎年、地元地区及び同盟会により通学路点検を実施 ○PDCA 事後評価からのフィードバック : 7-1					評価	A	
所管課の意見	当路線は都市の骨格を形成する幹線街路であり、通学路に指定されているものの歩道が未整備となっており、児童や生徒と通行車両が錯綜し、交通安全上問題が生じていることから、早期の整備が必要であり、安全で安心な都市環境の形成のため事業着手が妥当と判断する。					採択状況	総合評価		
建設部公共事業評価委員会の意見	所管課の意見が妥当であると判断する。					○	A		
県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	—	評価の決定	事業着手				

事業概要説明図表	【位置図、平面図、構造図等】		
	位置図	平面図	
	【整備の必要性がわかる状況写真等】		
	①		
	②		
	標準横断面		
	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	都市計画道路岩野ニッ柳線は、長野市篠ノ井御幣川地区から信更地区や信州新町へ通じる主道路であり、通明小学校の通学路にもなっている。かねてから、歩道がないことにより、通学する児童及び歩行者の危険性が訴えられてきた。また、御幣川五差路より西側は整備が完了しているため、未整備区間の本計画区間へ通行する際に走行性が悪く、危険性が高い。	
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	毎年、期成同盟会より事務所へ改良の陳情があり、総会への出席も求められている。また、地元説明会時にも反対意見はなく、早期着手を求められている。	
③事業説明等の経緯	H28.7.26 現地測量着手に伴い説明会を実施 H30.1.17 御幣川五差路周辺の詳細設計着手に伴い、説明会を実施 H31.3.26 御幣川五差路周辺の詳細設計完了に伴い、説明会を実施 R元.6.17 計画区間全線の詳細設計完了に伴い、説明会を実施		
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	しあわせ信州創造プラン2.0、長野都市計画区域マスタープラン		
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	周辺のまちづくり活動や事業と連携し、植樹による緑化が計画されている。		
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られることにより、渋滞の減少や交通事故の減少が見込まれる。		
⑦その他			
事後・再評価からのフィードバック	通明小学校の通学路に指定されている。かねてから、歩道がないことにより、通学する児童及び歩行者の危険性が訴えられおり、安全確保のための歩道整備が求められる。	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 138° 08' 23" 1 東経:E 36° 34' 14" 8